

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 25

千葉県立実籾高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア及びイを満たす生徒

- ア 中学校で学ぶ基礎的な学習内容を身に付けており、基本的な生活習慣が確立している生徒
- イ 本校入学後においても学習や部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名1組を原則とする評価者3名の集団面接 検査時間:1組あたり10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値に、イについて加点(上限30点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 第1～3学年の評定に1がある者は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録、行動の記録、特別活動の記録、部活動の記録、特記事項(技能審査・その他)	基準により数値化したものを用いる。 30点満点で加点する。 いずれかの学年の年間の欠席が20日を超える者は、審議の対象とする。 行動の記録に○が無い者は、審議の対象とする。

(3) 面接 [30点満点]

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、

- a(特に優れている)
- b(標準である)
- c(著しく問題がある)

の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価(各10点満点)を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 質問に対する返答の内容	志望動機が明確で、高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する姿勢・態度・身だしなみ	基本的な面接作法が身に付いており、身だしなみが整っている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計により順位をつけたとき、次のパーセント以内にある者は、入学許可候補者として内定する。

(ア) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(イ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の80パーセント

ただし、学力検査の個々の教科の得点、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録、行動の記録及び第2日の検査(面接)の結果等に問題となる点がないこと。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計に「第2日の検査(面接)の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の 成績	調査書の得点		第2日の 検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	30点	30点	$(695 + \alpha - m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業生については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。